

## 2012年度 日本獣医がん学会 第2回 理事会 議事録

日時：2013年1月27日 12:10～12:50

場所：第8回日本獣医がん学会会場（麻布大学 8号館 8502講義室）

議長：信田卓男会長

参加者：（順不同，敬称略）

理事：信田卓男，浅野和之，石田卓夫，井上明，  
大塚秀信，川野悦生，川村裕子，児玉和仁，  
児玉恵子，佐藤敏彦，下田哲也，藤田道郎，  
堀 英也，圓尾拓也，南毅生，三宅龍二

病理部会長：鈴木 学

広報・渉外：杉山大樹

監事：本間尚巳

欠席者：安藤純，加藤吉男，廉澤 剛，辻本 元，日高勇一，丸尾幸嗣，  
小林哲也

稟議した内容は以下に記し，その概要を転記した．

議題：

### 【報告事項】

1. 第7回学会事務報告：信田会長

〔資料1-1参照〕

本執行部になってからの4年間の年度末残高と会員数の報告．

2008年度から2009年度にかけて学会移行のため，約1000万円使用した．

2011年度末残高は約4500万円に増加した．

学会になってから，会員数は今年度で2000人余になった．この4年間で約600人増加した．

残高が多い事に関して，審議事項で後述する．

〔資料1-2参照〕

学会開催について．

第1回学会から8回までのメインテーマと招待講師，参加者数を示した．

各回，約 600 人前後の参加者である。

## 2. 認定医委員会報告：石田委員長

各試験結果の報告

- ・ 第 3 回 2 種認定医試験

2012 年 7 月 8 日実施

受験者：125 名 合格者：12 名 合格率 9.6%

例年よりやや合格率は低い結果となった

- ・ 第 3 回 1 種 1 次認定医試験

2012 年 7 月 8 日実施

受験者：30 名 合格者：4 名

近年は例年通りの結果であった。

- ・ 第 3 回 1 種 2 次認定医試験

2012 年 10 月 8 日実施

受験者：12 名 合格者：2 名

「審議事項」

合格の基準を 1 もしくは 1/2 標準偏差のどちらにするか

- ・ 標準偏差による合格基準は厳密には元々規定されていない（各試験によって合格基準を変えている訳ではない）
- ・ 面接試験であるため，実際に試験を行った面接官の意見を反映させるという委員長見解

以上は認定委員会で承認され，今回の合格基準を採用した。

4 年間の総括：

認定医試験の目的は認定医の数ではなく，質の確保を優先させる事。

日本の臨床と動物・家族の質を高めるための認定医を育てることを優先する。

教育講演について：講義時間は 90 分にこだわらない。次期執行部に委ねる。

新認定医：2 名を認定医として承認した。

## 3. 学会雑誌編集委員会報告：藤田委員長

メール会議を行った。

昨年度の発行状況は No.1, No.2 の 2 冊. 現在短報 2 本が査読終了している.  
あと, 原著もしくは短報 1 本がそろえば, Vol.4 No.1 発行予定. HP,  
JONCOL にて原稿募集を続ける.

4. JONCOL 編集委員会 : 児玉委員長  
JONCOL 第 14 号が発行された. 今号で現委員会は終了で, 次期委員会に  
引き継ぐ予定.

5. 次期評議員・理事選挙の結果報告 : 信田会長  
結果は HP に掲載.

〔資料 2-1〕

全会員から選挙を行い, 投票規定に従って評議員を選出した.

会員総数 : 1999 人

投票人数 : 658 人 (投票率約 30%)

総投票数 : 1859 票

有効投票数 : 1859 票

無効投票 : 0 票

当選人 : 61 人

得票数 7 票でカットオフとした.

次期石田会長推薦枠で大学枠, 開業医枠として数名が追加された.

この後, 総会にて承認を得る予定.

〔資料 2-2〕

上記評議員と会長推薦枠から, 投票規定に従って選出した.

候補者数 : 78 人

投票人数 : 72 人

有効投票数 : 1388 票

無効投票 : 0 票

当選人 : 22 人

6. その他

渉外・広報担当 : 杉山評議員

2013 年 2 月に開催される内科学アカデミーにて猫の肥満細胞腫をテーマに

シンポジウムを行う予定。

次期執行部から、内科学アカデミーについてのテーマは企画委員会に委ねることになった。

### 【審議事項】

1. 次期評議員・理事の承認：信田会長

次期評議員・理事の承認が得られた。臨時総会で承認を得る予定。

2. JONCOL2013年夏号の編集と発行契約：信田会長

〔資料3〕

- 1) 編集委員会執行部移行のため、2013年夏号の編集のみ、信田会長指導の下でファームプレスが主導となって編集を行う。また、Dr.Mooreにはリンパ腫についての原稿も依頼している。

次回2013年冬号からは次期編集委員会が編集を行う。

- 2) 現在無料配布しているが、今後デジタル化の準備をファームプレス社にて準備を進めている。ただし、全会員がデジタル配信が可能ではない事が考えられるため、そちらへの対応（DVD版の配布等）も同時に検討している。

これに関しては会員への承認も必要である。

→承認が得られた。

3. 認定医2種試験テキストブックの発行と契約事項：石田委員長

本来の予定では、今学会で発売予定であり、遅れた事についての謝罪があった。この後は細部の修正・承認が終了すれば発行可能。

1冊1,5000円で今春までには発売予定。認定医試験のカリキュラムに沿った内容である。各セクションで重複する内容があるが、削除せずに掲載している。教育講演の内容もこの範囲で行う。

・契約書案〔資料4〕

印税等支払い方法

日本獣医がん学会	: 1%
監修者	: 3%
各章のコーディネーター	: 謝礼1万円
各著者	: 7%を担当ページ数比率で分配

献本：上記全てに各 1 部贈呈  
学会会員：10%引きで購入可  
改訂時毎に契約見直し

→承認が得られた。

4. 次期会長施政方針と次期執行部人事の承認：石田次期会長

学会全体の若返りをしていきたい。次期学会で若手を育てていき、更に次ぎにつなげていく、という方針でやっていきたい。

今まで麻布大学に会場・人手共に多大な協力を頂いていた。実際には外部への委託や会場探しは難儀であるが、今後はクオリティを維持し、踏襲しながら、外部との連携で学会を開催していこうと考えている。

〔資料 5〕

執行部	副会長	：藤田道郎，杉山大樹
	監事	：中尾 淳，本間尚己
	会計監事	：浅葉慎介
	会計監査	：溝呂木啓介
	渉外・広報担当	：武信行紀

委員会	認定委員会委員長	：藤田道郎
	学会企画委員長	：古川敬之
	学会雑誌編集委員長	：藤田道郎
	JONCOL 編集委員会会長	：井上 明
	専門医制度実行委員会委員長	：南 毅生

今回、新しい委員会として、学会実行委員会を設けた。外部の開催業者と密に連絡をとり、実際に学会の運営・執行をする際に必要となるため、企画委員会とは別に設けた。

認定委員会は、副委員長は 3 名設けた。各副委員長が別の分野を細かく担当し、委員長がより、全体を統括しやすいように配慮した。

各委員会の副委員長や委員については各委員長に一任してある。

→承認が得られた。

5. 学術部会等の諮問機関設置と人事の承認：石田次期会長

学術部会	外科部会	：浅野和之
------	------	-------

放射線療法部会 : 圓尾拓也  
内科部会 : 細谷謙次  
病理部会 : 賀川由美子  
臨床研究部会 : 皆上大吾  
国際情報部会 : 辻本 元

各部会の次期部会長も、若手を中心に任命し、評議員・理事の中から選出した。各部会長には内諾を得ている。各部会メンバーについては部会長に一任している。

→承認が得られた。

※ 各部会はあくまで学会企画を提案する諮問機関であり、実際の学会企画は企画委員会が企画の可否を検討し、執り行っていく。  
これは前期学会と同様で、基本方針は変わらない。

6. 2013 年度予算案の承認：杉山次期副会長

次期学会から学会費が変わる事を見越して設定している。会員増員に伴い、管理費を増やしている。

ただし、学会費の増加に関して、次回学会は麻布大学で開催されるため、実際の学会費等は今までと同様である。実際の増加は 2014 年度から行われる事となる。余剰金をこれにあてることになる。

→承認が得られた。

7. 第 9 回学会日時等の承認：次期石田会長

7 月 6・7 日を予定している。

次回以降 8 回分のメインテーマは早急に企画委員長と検討し、企画する予定である。

→承認が得られた。

8. その他：信田会長

次期執行部への申し送り

- 1) 学会の法人化を次期執行部でできるだけ早急に検討してほしい。
- 2) 認定医制度について

当初の会員の向学意欲を高めるという目的も失いたくない。そのため、2 種試験については一般会員が持ち合わせている知識で対応できる程

度にし、難易度を高くしすぎないようにしてほしい。

→石田先生から

2種試験は実際には現在の問題は難しい、もしくは重箱の隅をつつく様な問題である。本来ならば、もっと基本問題を中心に作成し、採点を厳しくして行きたい。そのためのNG問題設定であった。この事に関しては次期認定委員会にもよく留意しておいてほしい。

→次期認定委員会に、申し送りとしてお願いすることになった。